

未来へつながる学びを支援する訪問 報告

数学 春日部市立大増中学校

実施日 指導案検討 令和7年 8月27日 (水)
授業研究会 令和7年10月10日 (金)
訪問者 指導主事 會田 浩

指導案検討会

- **単元名**
比例式の利用 (第1学年)
- **本時の目標**
 - ・ 比の値や比例式の意味を理解し、簡単な比例式を解くことができる。
《知識及び技能》
 - ・ 比例式の性質を理解し、その性質を利用して文字の値を求めたり、具体的な問題を解決したりすることができる。
《思考力、判断力、表現力等》

《授業者の思い・意図》

- ・ 生徒が比例式の性質を理解し、性質を活用して課題を解決させたい！
- ➔ **生徒同士の「教え合い活動」を設定する。**
- ➔ **演習問題を例題に即した問題に変更する。**

授業デザイン改善のPOINT

- **既習事項から本時の学習へ**
導入で、小学校の「比の計算」の復習を行い、既習事項を想起させ、本時の学習へつなげる。
- **演習問題の変更**
例題の解法が活用できるように演習問題を変更する。
- **「リトルティーチャー」の活用**
問題を解決できた生徒が、見通しのもてない生徒に教えに行く。教える際も「何を文字にするのか」など視点をもって、教えるようにする。

授業研究会

- **生徒の変容や今後の課題**
 - ◎ 小学校で学習したことを想起させ、本時の比例式の活用へつなげた。
 - ◎ 多項式を使った計算に戸惑う生徒がいたが、分配法則の活用を考えさせたことで、解くことができた。
 - ▲ 比例式を活用して、課題を解決する「良さ」を検討させることで、問題に応じて解決法を選択できる生徒の育成につながる。



生徒同士で活発な
考えの交流



■ 参会者の声

- ・ 同じ教科の先輩教員が所属校にいないので、協議の中で質問したり、他校の実践内容が聞けたりして有意義であった。2学期からの授業に活かしていきたいと感じた。
(指導案検討会：中学校教諭)
- ・ 研究授業をもとに、日頃の授業について参会者と議論できたので大変有意義な時間だった。1つの問題について、多様な考え方ができたり、解いたりできるのは数学の良さだと思う。生徒に良さを味わわせる工夫が、教員に求められているように感じた。
(授業研究会：中学校教諭)

■ 授業者の声

- ・ (指導案検討) 多くの先生方のお話や助言を聞いて、授業の流れや発問の仕方、出題問題の精選の仕方に至るまで、詳細に計画して授業をデザインすることが分かった。
- ・ (授業研究会) 一人一人の生徒の実態に応じて、説明の仕方や出題問題をアレンジすると生徒が理解しやすくなることを学ぶことができた。
- ・ (今後に向けて) 授業方法や発問など至らないことも多々あるが、助言いただいた経験を活かして、今後も日々の教材研究に励んでいきたい。